

2013 年 11 月 4 日(月) 嘉手志川(カデシガー) (糸満市)

体験記者:湧き水 fun 倶楽部

山岳地帯である北部やんばるに負けず劣らず、南部も水どころとして知られています。
今回、糸満市のカー 嘉手志川(カデシガー)を紹介します。



嘉手志川(カデシガー)。県道7号線の高嶺中学前を東側に曲がるとすぐ左手にあります。
まるで池のような大量の水があり、子どもたちが泳ぐこともできるくらいです。

【参考情報】 (糸満市教育委員会資料より引用)

南山繁栄の基礎を担った泉で、この地はかつて「水の国」と呼ばれていました。南山王滅亡のきっかけが、この泉を失ったことにあると伝えられています。中山王尚巴志の持つ金屏風を欲しがり、この嘉手志川と交換したと言われています。このことより住民の心は他魯毎から離れていき、孤立したため尚巴志によって滅ぼされたと言われています。



【周辺情報】

所在地：糸満市大里 320

駐車場：なし

交通：バス停「高嶺入口」より徒歩 15 分程度

トイレ：あり

概略位置図（嘉手志川）：



【参考】

湧き水fun倶楽部 活動記録 (<http://wakimizufun.ti-da.net/>)